

クリーンアップふくい大作戦事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	安全環境部	課名	環境政策課	課長名	竹内 芳隆			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R元 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度		
事業実施方法	直営、委託													
補助率	—													
福井県長期ビジョン における位置付け	分 野 [安心を高める(地域力)] 政 策 [ふるさとの暮らしと風景の維持]				関連する県の計画等		〔 福井県環境基本計画 〕							
[事業目的] 福井の豊かで美しい自然環境を守り、県民・行政が一体となって環境美化活動を行う「クリーンアップふくい大作戦」を推進するため、2020年に開催される東京オリンピックの聖火リレーや、近年世界的に問題となっている海洋プラスチックごみをテーマに、県内全17市町と協働した清掃活動を実施するなど、市町や企業・団体等とともに、県下一斉にごみ拾い活動等の環境美化活動を展開する。														
[事業内容] (1) 東京オリンピック聖火リレーコースの県下一斉清掃 ・5月30日、31日に行われる東京五輪聖火リレーコース周辺の清掃活動を全17市町で実施 (2) 河川のプラごみ一掃プロジェクト【1,523千円】 ・海洋へのプラスチック流出を防止するため、県内主要河川等において、家族連れや友人同士で楽しみながら行うゴミ拾いイベントを市町と協働して実施 (3) クリーンアップふくい活動応援事業【500千円】 ・清掃活動を行う企業・団体等に対し、クリーンアップふくい応援団(県内著名人や大学生、ボランティア等)を派遣														
[受益者] 県民						[想定される受益者数]								
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 見える魅せるごみ拾い事業 (実績) スポーツGOMI拾い参加者数 計461チーム 2,027人					市町との連携状況								
[事業の評価]														
前年度の実績						実績を踏まえた令和2年度の変更点								
・県主催イベントの実施 スポーツGOMI拾い大会(2回) 9/15敦賀大会 参加者数:64名 9/29鯖江大会 参加者数:83名 ごみ拾いウォーキング(1回) 9/1 参加者数:63名 ・クリーンアップふくい応援団派遣:7回						東京オリンピック聖火リレーにあわせて、各市町のリレーコース周辺の清掃活動を実施 河川から海に流れ込むプラスチックごみへの対策として「河川のプラごみ一掃プロジェクト」を全県的に展開し、楽しく参加できるごみ拾いイベントを開催								

クリーンアップふくい大作戦事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	安全環境部	課名	環境政策課	課長名	竹内 芳隆			
事業主体	県				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	R元 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営、委託													
補助率	-													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	2,023			(繰入) 2,023		環境保全基金								
[予算額の推移等] (単位：千円)														
区 分		30年度	令和元年度	2年度	実績等を踏まえた2年度の変更点									
当初予算額の推移		/	2,776	2,023	県主催イベント（河川のプラごみ一掃プロジェクト）の実施回数の増 クリーンアップふくい応援団派遣料の減									
2月現計予算額の推移		/	1,934											
決算額の推移		/												
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	クリーンアップふくい大 作戦参加者数	(目標) 実績	(100,000)	(110,000)	(110,000)	(110,000)	イベント1回あたり100名							
活動指標	ごみ拾いイベント参加者 数	(目標) 実績	(300)	(500)	(500)	(500)								
他県の状況					関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)							

若手環境教育リーダー育成事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	安全環境部	課名	環境政策課	課長名	竹内 芳隆							
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H30 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度						
事業実施方法	直営																	
補助率	—																	
福井県長期ビジョン における位置付け	分 野 [安心を高める(地域力)] 政 策 [ふるさとの暮らしと風景の維持]				関連する県の計画等		〔 福井県環境基本計画 〕											
[事業目的]																		
環境アドバイザー等の環境教育の指導者が高齢化しているため、大学生を対象に小中学生向け環境教育プログラムを企画・実施する機会を創出することにより、次世代の環境教育を担う若手リーダーの育成を図る。																		
[事業内容]																		
○大学生が、小中学生を参加対象とした環境学習プログラムを企画・運営する際、それに対し県が支援																		
【対 象】 県内の大学生が所属するゼミ、サークル等団体 【支援内容】 1団体あたり200千円(5件) 【選定方法】 応募団体によるプレゼンテーションを行い、審査委員会で選定(企画内容の実現可能性や効果などを審査)																		
[受益者] 県内の短大生、大学生、大学院生、小学生、中学生							[想定される受益者数] 100人											
前事業の有無・実績		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 地域環境コーディネート力向上事業 (実績)					市町との連携状況											
		平成29年度 43名参加 平成28年度 45名参加 平成27年度 77名参加 平成26年度 89名参加																
[事業の評価]																		
前年度の実績						実績を踏まえた令和2年度の変更点												
令和元年度 5団体 73名 参加																		

若手環境教育リーダー育成事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	安全環境部	課名	環境政策課	課長名	竹内 芳隆			
事業主体	県				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	H30 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営													
補助率	-													
区分	事業費	国庫	起債	その他		一般財源		国庫、その他財源の名称等						
予算額	1,264			(繰入) 1,264				環境保全基金						
[予算額の推移等] (単位：千円)														
区 分		30年度	令和元年度	2年度	実績等を踏まえた2年度の変更点									
当初予算額の推移		1,195	1,266	1,264										
2月現計予算額の推移		1,195	1,266											
決算額の推移		1,163												
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	環境学習会参加者(大学生)数	(目標) 76	(50) 73	(50)	(50)	(50)	10人/回×1回×5団体							
活動指標	環境学習会開催数	(目標) 5	(5) 5	(5)	(5)	(5)	年1回×5団体							
他県の状況	沖縄大学において、石垣島の小中学生を対象にキャンプを実施。その後、参加していた大学生が設立したNPOに実施主体が移行。人材育成も図られている。					関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)						

福井県気候変動教育プログラム事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	安全環境部	課名	環境政策課	課長名	竹内 芳隆			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R元 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度		
事業実施方法	委託													
補助率	—													
福井県長期ビジョン における位置付け	分 野 [安心を高める(地域力)] 政 策 [ふるさとの暮らしと風景の維持]				関連する県の計画等		[福井県環境基本計画]							
[事業目的]														
福井県独自の気候変動教育プログラムを開発・実践し、気候変動の影響への適応に向けた活動を企画・実践できる人材を育成する。														
[事業内容]														
福井県独自の気候変動教育プログラムを開発・実施														
【対 象】 中・高校生														
【事業内容】 ①新たな学習法の開発・実践・分析 【開発】県内の気候変動による変化の情報収集、県内の事例を反映させた教材の作成 【実践】新たな学習法による講座の実施 【分析】講座実施前後でアンケート調査等を実施し、効果を分析 ②教育体制づくり アースサポーターや若手環境教育リーダーなどを対象に勉強会を実施														
[受益者] 県内中学・高校生						[想定される受益者数] 40,000人								
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				市町との連携状況								
[事業の評価]														
前年度の実績						実績を踏まえた令和2年度の変更点								
県内の気候変動による影響の情報を収集し、事例を反映させたミステリーカードを作成、モデル校3校合計225人に対して授業を実施。						ミステリーカードの指導者向けマニュアルの作成を行うとともに、ミステリーカードを活用した気候変動教育プログラムを開発								

福井県気候変動教育プログラム事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	安全環境部	課名	環境政策課	課長名	竹内 芳隆			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	R元 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	委託													
補助率	-													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	1,000			(繰入) 1,000		環境保全基金								
[予算額の推移等] (単位：千円)														
区 分		30年度	令和元年度	2年度	実績等を踏まえた2年度の変更点									
当初予算額の推移		/	1,613	1,000	ミステリーカードの指導者向けマニュアルの作成 ミステリーカードを活用した気候変動教育プログラムの開発									
2月現計予算額の推移		/	1,613											
決算額の推移		/												
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	教育プログラム実践講座 受講者数	(目標) 実績	(100)	(100)			1校あたり50名							
活動指標	モデル校数	(目標) 実績	(2)	(2)			モデル校として2校を選定							
他県の状況						関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)						

せせらぎ定点観測事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	安全環境部	課名	環境政策課	課長名	竹内 芳隆	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H26 年度 経過年数 7 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分 野 [安心を高める(地域力)] 政 策 [ふるさとの暮らしと風景の維持]				関連する県の計画等		〔 福井県環境基本計画 〕					
[事業目的]												
県内の小学生が地域の河川や用水路をフィールドに水質や水生生物、景観などを調査することにより、地域の水環境に対する関心を高め、将来にわたって、自発的に水環境の保全活動を促すことを目的とする。												
[事業内容]												
県内8河川において水質や水生生物、景観等を調査 ・調査方法 水辺のすこやかさ指標(みずしるべ)を活用した定点観測(水質、生き物等を調査)およびプラスチックごみに関する調査 ・実施時期 7月から8月(夏休み中) ・対 象 県内小学生 ・協力団体 河川の保全活動を行っているNPO・団体等 ・結果報告 県ホームページ等で公表 ・支援内容 5年間調査を継続することを要件に、調査用教材(みずしるべ)や調査消耗品(COD簡易検査キット、透視時計等)を団体等に対して支援												
[受益者] 県内の小学生						[想定される受益者数] 160人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					市町との連携状況						
[事業の評価]												
前年度の実績						実績を踏まえた令和2年度の変更点						
県内4河川で定点観測を実施(78名参加) ※降雨等のため3河川は中止												

せせらぎ定点観測事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	安全環境部	課名	環境政策課	課長名	竹内 芳隆					
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	H26 年度 経過年数 7 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度		
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務			□ 補助金						□ その他	
補助率	-															
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等										
予算額	893			(繰入) 893		環境保全基金										
[予算額の推移等]												(単位：千円)				
区 分		30年度	令和元年度	2年度	実績等を踏まえた2年度の変更点											
当初予算額の推移		907	907	893												
2月現計予算額の推移		735	495													
決算額の推移		728														
前年度までの 主な増減理由																
[成果指標等の推移]																
区 分		30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	目標・指標の考え方・積算根拠									
成果指標	せせらぎ定点観測参加者数 (目標)	(120)	(120)	(120)	(120)	(120)	1河川あたり参加者数15人×8河川									
	実績	156	78													
活動指標	せせらぎ定点観測開催数 (目標)	(8)	(7)	(8)	(8)	(8)	県内8河川で調査実施 ※R元年度は降雨による河川増水のため、3河川での調査を中止									
	実績	8	4													
他県の状況						関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)								

地球温暖化ストップ県民運動強化事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	安全環境部	課名	環境政策課	課長名	竹内 芳隆	
事業主体	環境ふくい推進協議会				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	H12 年度 経過年数 20 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	補助金											
補助率	定額											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [安心を高める(地域力)] 政策 [ふるさとの暮らしと風景の維持]				関連する県の計画等		[福井県環境基本計画]					
[事業目的] 日常生活(Life)、事業活動(Office)、自動車利用(Vehicle)、環境教育(Education)の分野において、地球温暖化防止の活動の輪を広げる県民運動として「LOVE・アース・ふくい」を推進する。												
[事業内容] (1) エコチャレふくいの普及強化 家庭の日(毎月第3日曜日)を、省エネ行動を推進する統一行動日に設定し、県下一斉にエコな取組みを実施 市町や企業と連携し、地域のイベント等でエコチャレをPR (2) クールシェア・ウォームシェア事業の実施 涼しく(暖かく)過ごせる場所等を登録・周知し、過度に電気等に頼らない取組みを実施 (3) 省エネ家電買替キャンペーンの実施 省エネ性能の高い家電への買替えを促すため、県内協力店舗において、省エネ性能が4つ星以上の省エネ家電の買替えキャンペーンを実施 (4) ネット・ゼロ・エネルギーハウス(ZEH)普及啓発イベントの開催												
[受益者] 県民						[想定される受益者数]						
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				市町との連携状況		市町と連携し、啓発活動を実施				
[事業の評価]												
前年度の実績						実績を踏まえた令和2年度の変更点						
家庭の日(毎月第3日曜日)を省エネ行動を推進する統一行動日に設定し、県下一斉にエコな取組み(エコチャレ)を実施 エコチャレ特設サイトへの投稿数: 989件(R2.2月末時点)						・エコチャレ普及啓発資料を作成し、地域や民間主催のイベントにおいて県民の参加を呼びかけ ・ZEHの普及促進のため、啓発イベントを新たに開催						

地球温暖化ストップ県民運動強化事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	安全環境部	課名	環境政策課	課長名	竹内 芳隆			
事業主体	環境ふくい推進協議会				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	H12 年度 経過年数 20 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	補助金													
補助率	定額													
区分	事業費	国庫	起債	その他		一般財源		国庫、その他財源の名称等						
予算額	19,686			(繰入) 19,686				環境保全基金						
[予算額の推移等] (単位：千円)														
区 分		30年度	令和元年度	2年度	実績等を踏まえた2年度の変更点									
当初予算額の推移		15,434	22,462	19,686	普及啓発資材を作成し、地域や民間主催のイベントと連携したPRを実施 ZEH普及啓発イベントを開催									
2月現計予算額の推移		14,984	22,462											
決算額の推移		14,984												
前年度までの 主な増減理由	・元年度は環境フェアを開催したことによる増													
[成果指標等の推移]														
区 分		30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	温室効果ガス排出量 (千トン)	(目標)					削減目標：2030年度までに2013年度比で28%削減（2013年度：10,458千トン） ※各年度の排出量は、3年後に数値確定							
		実績	-	-										
活動指標	エコチャレ参加者数	(目標)	(5,000)	(7,000)	(8,000)	(9,000)	(10,000)	エコチャレHPへの投稿数、各種キャンペーン参加者数、イベント参加者数						
		実績	6,689											
他県の状況						関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)						

県民主体の省エネ普及啓発事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	安全環境部	課名	環境政策課	課長名	竹内 芳隆	
事業主体		環境ふくい推進協議会			事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	R元 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	補助金											
補助率	定額											
福井県長期ビジョン における位置付け		分野	[安心を高める(地域力)]		関連する県の計画等		[福井県環境基本計画]					
[事業目的] これから省エネに関わる若者や省エネ意識の高い主婦(夫)の視点で、効果的な省エネ活動を企画・実践・発信し、県民へ楽しい省エネ活動を波及させる。												
[事業内容] 若者・主婦(夫)を中心とした普及啓発活動を実践する省エネ活動推進グループの自主的な活動を支援 (1) 省エネ活動推進グループが温暖化対策、省エネ活動を普及するための方法を企画 例) ボードゲーム体験会や、省エネ方法を掲示しながらのマラソン等 (2) 省エネ活動推進グループによる出張講座 省エネ活動推進グループが出向いて、地球温暖化の現状や家庭でできる省エネ活動に関する知識を普及 (3) 省エネ活動推進グループのスキルアップ講座の開催 省エネ活動推進グループが効果的に省エネ活動を推進するため、環境分野に精通される教授等を招いて講座を開催												
[受益者] 県民						[想定される受益者数]						
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				市町との連携状況						
[事業の評価]												
前年度の実績						実績を踏まえた令和2年度の変更点						
省エネ活動推進グループ参加者数：12名 企画講座参加者：87名 (R2.2月末現在)						・省エネ活動推進グループを中心に、大学等での省エネ ボードゲームの普及や、若者の視点やアイデアをもとにし た省エネ対策をSNSで発信する等、さらなる活動を展開						

県民主体の省エネ普及啓発事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	安全環境部	課名	環境政策課	課長名	竹内 芳隆			
事業主体	環境ふくい推進協議会				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	R元 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	補助金											経過年数		
補助率	定額											2 年		
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	984			(繰入) 984		環境保全基金								
[予算額の推移等] (単位：千円)														
区 分		30年度	令和元年度	2年度	実績等を踏まえた2年度の変更点									
当初予算額の推移		/	2,367	984	省エネボードゲーム完成に伴う減									
2月現計予算額の推移		/	2,367											
決算額の推移		/												
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	企画イベント等参加者数 (目標) 実績	/	(100)	(150)	(150)	(150)	省エネ活動推進グループが企画・開催するイベント等参加者数							
活動指標	グループ活動回数 (目標) 実績	/	(13)	(15)	(15)	(15)	省エネ活動推進グループ活動回数							
他県の状況					関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)							

中小企業スマート省エネ促進事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	安全環境部	課名	環境政策課	課長名	竹内 芳隆	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H30 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分 野 [安心を高める(地域力)] 政 策 [ふるさとの暮らしと風景の維持]				関連する県の計画等		〔 福井県環境基本計画 〕					
[事業目的]												
中小企業のほとんどが省エネ法および温対法の規制対象外であるため、県内中小企業の省エネ対策を強化し、コストダウンと併せた温暖化対策を推進する。												
[事業内容]												
<p>(1) 省エネガイドラインの作成 業種ごとに運用改善やICTの活用など、賢い省エネ対策を中心としたガイドラインを作成し、県内中小企業の省エネ対策の強化を図る。</p> <p>① モデル事業者を選定し、委託事業者による省エネ診断を実施 ② 省エネ診断に基づく省エネ対策の実践 ③ 省エネ診断対象者以外にも、アンケート調査およびヒアリング調査を実施 ④ ②および③で得られた具体的な知見を基にガイドラインを作成</p> <p>(2) 省エネガイドラインを活用した省エネ対策の推進 ふくい環境配慮型社会研究会や商工会議所、商工会等を通じて周知・配布 ガイドラインを活用した運用改善方法や補助制度等に関する相談窓口の設置</p>												
[受益者] 県内の中小事業者						[想定される受益者数] 14業種						
前事業の有無・実績		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 業種別省エネ研究会の設立・運営事業 (実績) 業種別の省エネ研究会の設立、運営を支援 【26～28年度】 福井県クリーニング生活衛生同業組合、福井県菓子工業組合、福井県老人保健施設協議会、福井県公衆浴場業生活衛生同業組合、福井県織物工業組合)				市町との連携状況						
[事業の評価]												
前年度の実績						実績を踏まえた令和2年度の変更点						
下記3業種において省エネガイドラインを作成 ・繊維業(織物業) ・プラスチック製品製造業 ・老人福祉介護事業 下記3業種においてアンケート調査からモデル事業者の支援を実施 ・染色整理業(燃糸業含む) ・食品小売業 ・鉄工業						ガイドラインを作成する業種を4業種追加						

中小企業スマート省エネ促進事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	安全環境部	課名	環境政策課	課長名	竹内 芳隆			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	H30 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営													
補助率	-													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	20,581					20,581								
[予算額の推移等] (単位：千円)														
区 分		30年度	令和元年度	2年度	実績等を踏まえた2年度の変更点									
当初予算額の推移		9,536	16,533	20,581	ガイドラインを作成する業種が1業種増えたことによる増 相談窓口の設置による増									
2月現計予算額の推移		9,536												
決算額の推移		9,450												
前年度までの 主な増減理由	H30 : 新規3業種 R元 : 継続3業種 + 新規3業種 計 6業種分													
[成果指標等の推移]														
区 分		30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	ガイドラインのPR回数 (目標)	-	-	(3)	(3)	(4)	ガイドラインのPR回数							
	実績	-	-											
活動指標	ガイドライン策定業種 (目標)	-	(3)	(3)	(4)	(4)	※ガイドラインの策定についてはR元年度以降							
	実績	-												
他県の状況						関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)						

次世代（省エネ）自動車導入推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	安全環境部	課名	環境政策課	課長名	竹内 芳隆		
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H21 年度 経過年数 12 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度	
事業実施方法	直営												
補助率	—												
福井県長期ビジョン における位置付け	分 野 [安心を高める（地域力）] 政 策 [ふるさとの暮らしと風景の維持]				関連する県の計画等		〔 福井県環境基本計画 〕						
<p>[事業目的]</p> <p>世帯当たりの自家用乗用車保有台数が日本一であり、移動手段における自動車への依存度が高い本県の現状を踏まえ、運輸部門からのCO2削減が期待できる次世代自動車（電気自動車・プラグインハイブリッド車等）の普及を促進する。</p>													
<p>[事業内容]</p> <p>(1) 電気自動車の率先導入（3,493千円） 県が率先して次世代自動車を導入し、県内どこでも県民が目にするように各地域の出先機関へ配置（7台）</p> <p>(2) 急速充電設備の撤去（950千円）</p> <p>(3) マスタープランの推進（23千円）</p> <p>(4) 外部給電器を活用したEV等の普及啓発（715千円）</p>													
[受益者] 県民						[想定される受益者数]							
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					市町との連携状況							
[事業の評価]													
前年度の実績						実績を踏まえた令和2年度の変更点							
県内EV・PHV累計普及台数：2,310台（R1.12月末現在）						急速充電設備の県内普及拡大に伴い、県が整備した急速充電設備の保守終了・撤去 EV等の給電機能をPRするため、外部給電器を購入							

次世代（省エネ）自動車導入推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	安全環境部	課名	環境政策課	課長名	竹内 芳隆	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H21 年度 経過年数 12 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R4 年度
事業実施方法	直営											
補助率	-											
区分	事業費	国庫	起債	その他		一般財源	国庫、その他財源の名称等					
予算額	5,181			(繰入)	715	4,466	環境保全基金					
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分		30年度	令和元年度	2年度	実績等を踏まえた2年度の変更点							
当初予算額の推移		6,054	5,832	5,181	急速充電設備の撤去 イベント等で展示・活用する外部給電器の購入							
2月現計予算額の推移		5,455	5,780									
決算額の推移		4,660										
前年度までの 主な増減理由	公用車再リース料金の契約変更に伴う変更 日産リーフ：R1年度にリース終了、新車リース契約を締結（～R8） I-MiEV：H30年度に長期リース終了、新車リース契約を締結（～R7） プリウスPHV：H27年度に長期リース終了、新車リース契約を締結（～R4）											
[成果指標等の推移]												
区分		30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	県内の次世代自動車普及 台数	(目標) 2,175	(2,200)	(2,500)	(2,800)	(3,200)	(3,600)	環境基本計画で数値目標設定				
活動指標	公用車の次世代自動車導 入台数	(目標) 11	(11)	(9)	(9)	(9)	(9)	環境政策課：7台、坂井HWC：1台（リーフ）、奥越HWC：1台（リーフ）				
他県の状況						関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				

水素供給設備設置補助事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	安全環境部	課名	環境政策課	課長名	竹内 芳隆			
事業主体	事業者				事務 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区 分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開 始 年 度	R2 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R2 年度
事業実施方法	補助金													
補助率	1/3													
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [安心を高める(地域力)] 政策 [ふるさとの暮らしと風景の維持]				関連する県の計画等		[福井県環境基本計画]							
[事業目的] 走行時に温室効果ガスを排出しない燃料電池自動車（FCV）の県内普及に向けて、県内で水素ステーションを整備する事業者を支援し、地球温暖化対策を推進する。														
[事業内容] 県内での水素ステーションの整備にかかる費用の一部を補助 【補助対象者】 県内で水素ステーションを整備する事業者 【補助率】 1/3 【補助上限額】 40,000千円														
[受益者] 県内で水素ステーションを整備・運営する法人・個人事業者						[想定される受益者数] —								
前事業の有無・実績		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 燃料電池自動車普及促進事業 (実績) ・燃料電池自動車普及イベントの開催 ・水素ステーション整備に向けた検討会の実施					市町との連携状況							
[事業の評価]														
前年度の実績						実績を踏まえた令和2年度の変更点								

水素供給設備設置補助事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	安全環境部	課名	環境政策課	課長名	竹内 芳隆			
事業主体	事業者				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	R2 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R2 年度
事業実施方法	補助金											R2 年度		
補助率	1/3											経過年数 1 年		
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	40,000					40,000								
[予算額の推移等] (単位：千円)														
区 分		30年度	令和元年度	2年度	実績等を踏まえた2年度の変更点									
当初予算額の推移		/	/	40,000										
2月現計予算額の推移		/	/											
決算額の推移		/	/											
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	水素ステーションの整備 (目標)	/	/	(1)			水素ステーションの整備							
	実績	/	/											
活動指標	事業者への補助 (目標)	/	/	(1)										
	実績	/	/											
他県の状況	○富山県 水素ステーション整備事業 (R1) 補助対象：整備に要する経費から経産省の交付決定額を控除した額の1/3 補助上限：40,000千円 ○全国15都道府県で補助事業実施					関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)						

再エネ活用地域振興プロジェクト事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	安全環境部	課名	環境政策課	課長名	竹内 芳隆			
事業主体		県、地域協議会など			事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	H30 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営、補助金													
補助率	10/10、1/2、1/4													
福井県長期ビジョン における位置付け		分野	[安心を高める(地域力)]		関連する県の計画等		[福井県環境基本計画]							
		政策	[ふるさとの暮らしと風景の維持]											
[事業目的]														
再生可能エネルギーの導入に意欲のある県内企業が、地域や市町とともにFITによる売電収入の一部を活用した地域還元型の取組みを企画・実施することによる、再生可能エネルギーの普及と地域のまちおこしを促進する。														
[事業内容]														
(1) 地域協議会の事業化検討に対する支援 ・ 地域での事業化に向けた協議会設立・開催、可能性調査業務(4地域程度) 補助率：地域単独 10/10補助 上限額 300千円 地域と企業合同 1/2補助 上限額 1,000千円 ・ 協議会に専門家のアドバイザーを派遣(各地域3回想定) 30千円/回 (2) 再生可能エネルギー設備導入に対する支援 補助率：県1/4(市町1/4) 補助上限額 20,000千円 (3) ふくいまち・エネおこしネット協議会の開催														
[受益者] 県内企業、再エネ導入地域						[想定される受益者数] ー								
前事業の有無・実績		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 地域主導型再生可能エネルギー等事業化促進事業 (実績) 再エネ導入市町 17市町					市町との連携状況							
[事業の評価]														
前年度の実績						実績を踏まえた令和2年度の変更点								
○地域での事業化検討(地域単独) ・ 里山蘇生協議会(越前市広瀬町) ・ 大滝小水力利用協議会(越前市大滝町) ・ 地域資源活用検討会(池田町水海)														

再エネ活用地域振興プロジェクト事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	安全環境部	課名	環境政策課	課長名	竹内 芳隆			
事業主体	県、地域協議会など				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	H30 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営、補助金													
補助率	10/10、1/2、1/4													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	22,661					22,661								
[予算額の推移等] (単位：千円)														
区 分		30年度	令和元年度	2年度	実績等を踏まえた2年度の変更点									
当初予算額の推移		3,534	23,543	22,661										
2月現計予算額の推移		932	1,611											
決算額の推移		459												
前年度までの 主な増減理由	令和元年度から、再エネ設備導入に対する補助を追加													
[成果指標等の推移]														
区 分		30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	再エネ導入数(累計)	-	(1)	(1)	(2)	(3)	再生可能エネルギー導入地域数							
活動指標	再エネ導入地域協議会数	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	再生可能エネルギー導入に向けた事業化検討							
他県の状況	島根県 再生可能エネルギーによる地域活性化支援事業(H27～) 補助対象：ハード整備に要する経費(借入利子(1.0%)相当) 補助上限：5,000千円 補助要件：事業収益の一部を地域に還元					関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)						

福井県の湖沼における有機物の新たな指標による評価と浄化に関する研究

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	安全環境部	課名	環境政策課	課長名	竹内 芳隆				
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H30 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R2 年度			
事業実施方法	直営														
補助率	—														
福井県長期ビジョン における位置付け	分 野 [安心を高める(地域力)] 政 策 [ふるさとの暮らしと風景の維持]					関連する県の計画等		[福井県環境基本計画]							
[事業目的]															
閉鎖性水域である三方五湖や北潟湖において、全有機炭素量(TOC)を初めとする有機物指標の測定を行い、難分解性有機物も含む有機物の総量を把握するとともに、流域ごとの有機物特性の解明、有機物浄化のための分解試験などにより、効果的な水質保全対策を検討する。															
<p>(1) 各種負荷源の有機物の特性解明 ・ 負荷源ごとの各種試験、分析(BOD、COD、TOC、UV等)</p> <p>(2) 湖の有機物の特性解明(流域特性、季節変動) ・ 三方湖、北潟湖における各種試験、分析、有機物の特性解析(UV260/DOC等)</p> <p>(3) 有機物の浄化試験 ・ 下水処理水、田畑系排水、湖水などを用いた処理実験、分析、解析</p>															
[受益者] 漁業関係者等						[想定される受益者数]									
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					市町との連携状況									
[事業の評価]															
前年度の実績						実績を踏まえた令和2年度の変更点									
・ 負荷源ごとの各種試験、分析 ・ 湖の有機物の調査 ・ 代掻き排水の処理実験															

福井県の湖沼における有機物の新たな指標による評価と浄化に関する研究

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	安全環境部	課名	環境政策課	課長名	竹内 芳隆					
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	H30 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R2 年度		
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務			□ 補助金						□ その他	
補助率	-															
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等										
予算額	3,269	3,269				特別電源所在県科学技術振興事業費補助金										
[予算額の推移等]												(単位：千円)				
区 分		30年度	令和元年度	2年度	実績等を踏まえた2年度の変更点											
当初予算額の推移		32,120	1,830	3,269	平成30年度整備機器の保守点検追加による増額											
2月現計予算額の推移		32,120	1,830													
決算額の推移		31,764														
前年度までの 主な増減理由	・平成30年度：備品整備															
[成果指標等の推移]																
区 分		30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	目標・指標の考え方・積算根拠									
成果指標	成果の外部発信 (目標) 実績	- 0	-	-			学会等での発表および論文投稿件数									
活動指標	有機汚濁状況の把握 (検体) 実績	(80) 80	(80)	(76)			R2：田畑3地点×年2回+河川2地点×年2回+湖沼11地点（流入河川2地点含む）×年6回									
他県の状況	国立環境研究所（霞ヶ浦）、滋賀県（琵琶湖）、石川県（河北潟）、福岡県（河川、湖沼）において、難分解性有機物やTOC評価について検討した研究事例がある。					関連事業の有無・ 役割分担		■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)								

福井県における越境大気汚染の解明に関する研究事業—PM_{2.5}の発生源に関する調査—

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	安全環境部	課名	環境政策課		課長名	竹内芳隆			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R元 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度			
事業実施方法	直営														
補助率	—														
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン	[安心を高める(地域力)]			関連する県の計画等		[福井県環境基本計画]					
[事業目的]															
微小粒子状物質(PM _{2.5})成分の調査により、PM _{2.5} に対する野焼きや二次生成粒子の影響を調査し、PM _{2.5} の発生源をより詳細に解明し、地域に応じたPM _{2.5} 対策の基礎とする。															
[事業内容]															
①PM _{2.5} 成分調査(野焼きの指標成分・二次生成粒子の指標成分の測定) ②レセプターモデル解析による発生源寄与解析 ③化学輸送モデル解析による越境大気汚染の寄与計算															
[受益者] 県民						[想定される受益者数]									
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有	事業名 福井県における越境大気汚染の解明に関する研究—PM _{2.5} の環境中挙動と発生源寄与の解明— (実績) 立地の異なる地点での成分分析を実施し、福井県内のPM _{2.5} の地域特性や季節特性を把握した。また、モデル解析により、発生源解析を行った。沿岸部、市街地、山間部という異なる立地では、成分や発生源に違いがあることがわかった。	市町との連携状況		連携なし										
[事業の評価]															
前年度の実績						実績を踏まえたR2年度の変更点									
GC/MS、NAS、吹付式試験管濃縮装置の整備 サンプリングおよび分析															

福井県における越境大気汚染の解明に関する研究事業－PM2.5の発生源に関する調査－

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	安全環境部	課名	環境政策課	課長名	竹内芳隆					
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	R元 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度		
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務			□ 補助金						□ その他	
補助率	－															
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等										
予算額	3,204	3,204				特別電源所在県科学技術振興事業費補助金										
[予算額の推移等]													(単位：千円)			
区 分		30年度	令和元年度	2年度	実績等を踏まえたの変更点											
当初予算額の推移		/	21,103	3,204	分析機器の整備完了に伴う減											
2月現計予算額の推移		/	19,913													
決算額の推移		/														
前年度までの 主な増減理由	R1：備品購入															
[成果指標等の推移]																
区 分		30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	目標・指標の考え方・積算根拠									
成果指標	成果の外部発信	/	-	-	-	-	学会等での発表および論文投稿件数									
活動指標	調査日数	/	(60)	(60)	(60)	(60)	成分分析調査日数									
他県の状況	他自治体もPM _{2.5} に関する調査研究に取り組んでいる。また、国立環境研究所と自治体によるⅡ型共同研究においても、PM _{2.5} に関する調査研究を実施している。					関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)								

化学物質対策調査研究事業
ー福井県におけるポリオキシエチレンアルキルエーテルの実態把握と環境負荷低減技術に関する研究ー

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	安全環境部	課名	環境政策課	課長名	竹内 芳隆				
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度			
事業実施方法	直営														
補助率	ー														
福井県長期ビジョン における位置付け	分 野 [安心を高める(地域力)] 政 策 [ふるさとの暮らしと風景の維持]					関連する県の計画等		[福井県環境基本計画]							
[事業目的]															
全国的にも排出量が多く県内の水環境に影響を与えていることが懸念されるポリオキシエチレンアルキルエーテルについて、環境リスクの低減を図るため、分析技術を確立し、環境中の汚染実態の把握と負荷源の解明を行うとともに、環境負荷低減技術の検討を行う。															
[事業内容]															
(1) 分析技術の確立 (2) 県内河川濃度の実態把握 ①主要河川における概況調査 ②高濃度河川における詳細調査 (3) 環境負荷低減技術の検討 ①河川水を用いた分解試験 ②排水処理技術の検討 ③成果情報の提供															
[受益者] 県民						[想定される受益者数]									
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 (実績)	事業名	化学物質対策調査研究事業～福井県におけるリン酸エステル系難燃剤の実態把握と処理技術に関する研究～				市町との連携状況	なし							
[事業の評価]															
前年度の実績						実績を踏まえた令和2年度の変更点									

化学物質対策調査研究事業－福井県におけるポリオキシエチレンアルキルエーテルの実態把握と環境負荷低減技術に関する研究－

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	安全環境部	課名	環境政策課	課長名	竹内 芳隆		
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R5 年度	
事業実施方法	直営									R2 年度			R2 年度 経過年数 1 年
補助率	－									1 年			
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	22,978	22,978				特別電源所在県科学技術振興事業補助金							
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区分	30年度	令和元年度	2年度	実績等を踏まえた2年度の変更点									
当初予算額の推移			22,978										
2月現計予算額の推移													
決算額の推移													
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区分	30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	成果の外部発信件数 (目標)			-	-	-	学会での発表および論文投稿の件数						
活動指標	試験件数 (目標)			(1)	(1)	(3)	事業内容における実施項目の件数 (2年度：(1)、3年度：(2)①、4年度：(2)②・(3)①②)						
他県の状況	平成30年度の環境省・化学物質環境実態調査（詳細環境調査）において、一般環境中における全国的なばく露評価について検討するため、全国25地点の水質媒体に含まれるポリオキシエチレンアルキルエーテルが調査されている。					関連事業の有無・役割分担		■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					